

苦戦する(困っている)子どもたちをサポートするために ～チーム支援をどのように進めるか～

高知市集中研修第1回「生徒指導」研修会の内容から
演題「生徒のニーズに応じた個別支援・学級支援体制づくり」

平成20年6月30日(月)南海中学校
講師 筑波大学 石隈利紀 教授

1 子どものかかわり方(援助)タイプ

あなたはどっちタイプですか？

フーテンの寅さんタイプ

寅さんは百人に対して百の顔を持つ人である。相手の文化を理解して共感しようとし、相手の願いをかなえようと援助する。援助資源活用型。

釣りバカ日誌のハマちゃんタイプ

ハマちゃんは百人に対して1つの顔で接する人である。相手を異なる文化の持ち主として理解し、行動をともにして相手を楽しませる。ネットワーク活用型。

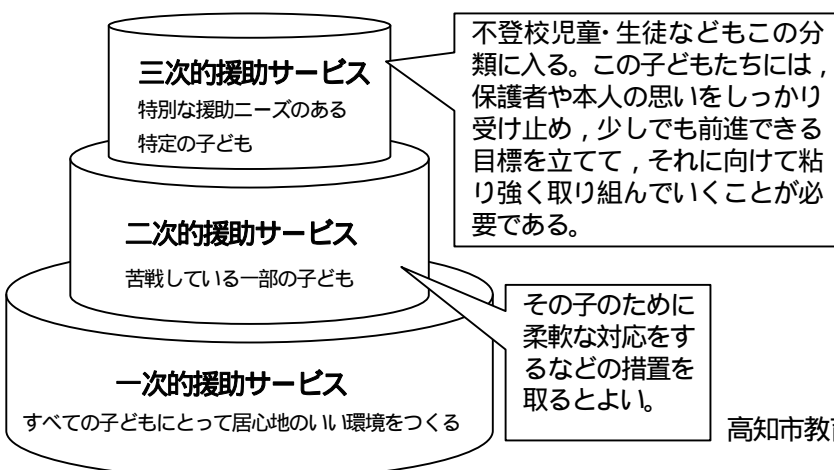
2 子どもの苦戦していること

痛みとのつき合いの困難さ・・・心の痛みを伴うこと(いじめなど)があっても、人の気持ちに共感するということができない。学校生活の困難につながっている。

「学習」と将来の自己像(職業を含めて)の不一致... 学習が将来の自分に、どのようにつながっているのか分からない。学校で学習と将来の一致が図れるように子どもたちに話していくことが必要である。

3 「チーム援助を支える考え方」として、3段階の援助サービスがある

学級担任が抱え込むのではなく、その子どもにとって、どの段階の援助サービスが必要なのかをしっかりとアセスメント(見立て)し、チームとして援助の仕方を考えていくことが大切である。



4 心理教育的援助サービスのシステム

学校で行う援助サービスのシステムには3つのレベルがある。

学校経営を支える「運営委員会」

校長, 教頭, 主任, 特別支援教育コーディネーターなど

学校レベルの「校内(支援)委員会」

担任, 生徒指導担当, 教育相談担当, 養護教諭, 特別支援教育担当など(学校レベル)

一人ひとりのための「援助チーム」

保護者, 担任, 養護教諭など(個別レベル)

5 チーム支援会議では、「話し合い能力」が必要とされる

話し合い能力とは、以下の内容になる。

- (1) 参加者の気持ちに配慮できる。
- (2) 話しやすい雰囲気をつくることできる。
- (3) 自分とは違う考えの人の意見でも聞ける。
- (4) 反対意見の人に対しても、上手に自分の意見を主張できる。

最も大切なことは、お互いの立場を尊重することである。保護者に対して、その子のできないことや悪い所を「～はダメ、～もダメ」と言うのではなく、できていないから、「～をしましょう」という声かけをしていくことが必要である。





裏に支援会での話し合いの手順のモデルを載せています。

援助チームの話し合いは作戦会議！

援助チームでの話し合いは、子どもの援助に関して、さまざまな立場の人が集まって行う作戦会議であり、情報や援助方針の共有をめざしている。

さらに、援助チームの話し合いは、「本音をなんでも言う場」ではないことと、お互いの立場とそれに基づく誇りを尊重する場である。そして、司会者の役割、参加者の役割について理解し、練習(ロールプレイ)することが大事である。

話し合いの手順	コーディネーター(進行役)・担任()・養護教諭()・母親() *アンダーラインは大事な表現である。
必ず集まってくれたお礼を言う	お忙しいところおいでいただき、ありがとうございました。
話し合いの目的を言う	それでは今日は、～さんについてこれからどのように援助していったらよいかを、話し合いたと思います。
メモの許可をとる 	話し合ったことを後で確認するために、メモを取らせていただいてよろしいでしょうか。
メモを渡す人についての許可をとる	話し合った内容はシートにまとめますので、あとで、校長先生やお父さんなどにも見せることになると思いますが、よろしいでしょうか。
援助資源チェックシートを作成	(事前に作成し、ここでは確認する)
援助チームシートのA～C欄の作成 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">A欄 いいところ B欄 気になるところ C欄 おこなった援助</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 5px 0;">援助チェックシート、援助チームシートは「楽しい学級・学校づくりのために第11号」に掲載されています。</div>	始めたいと思います。最初に～さんのいいところについて確認をしたいと思います。 まず、担任の先生から～さんの学習面について本人の得意な教科などを教えてください。 <u>ねばり強いという子どもさんなのですね。</u> お母さん、ご家庭ではどんないいところがあると思われますか。 <u>とても元気な男の子ということですね。</u> 保健室の先生から何かこの件についてありませんか。 低学年の子に優しい子です。気に入ったことは最後まであきらめずによくやっていました。 全体的にはとても元気な～さんということが言えると思います。 ～さんは絵や図工がとても得意です。音読も得意です。時間がかかっても丁寧に最後までやり通すというところがあります。 (後略)
援助チームシートのD欄の作成 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">D欄 目標と援助方針</div>	～さんへの情報がだいが集まってきましたので、これからのどのように援助をしていったらいいのかについて考えていきたいと思います。 <u>今の状態で一番大事なことは、私のほうでまとめていきます。</u> <u>1番大事なことは情緒を安定させること</u> <u>2つ目に、学習面の苦手意識を少なくするということですね。</u> (後略)
援助チームシートのE～G欄の作成 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">E欄 何を F欄 だれが G欄 いつからいつまで</div>	この2つの大きな目標を立てて、どんな援助ができるかということをお話し合っていきたいと思います。よろしいでしょうか。 それでは、援助案を考えていきたいと思います。援助で一体何をしていたらいいのかということです。担任の先生からどうでしょうか。 好きなことは任せ、ほめる機会を増やしていきたいです。 <u>1つは、～さんの気持ちをお母さんや先生がよく聴くということですね。</u> (後略)
次回の話し合いの日を決める 	今日確認したこの方針で～さんへ援助を行い、 <u>やってみてどうだったかを次の時に話し合いたと思います。</u> 次回はいつ頃がいいでしょうか。ご都合をお聞かせください。 ～日の～時なら来れるのですが。
おわりの挨拶	次回は 月 日に行いたと思います。今日はほんとにありがとうございました。 (全)ありがとうございました。